

9月1日は「防災の日」です 家族で決めておこう 災害時の行動

災害時の行動

災害は、いつ、どこで発生するか分かりません。いざという時のため、日頃の備えや心構えが大切です。家庭内で十分話し合い、避難場所や避難する時の経路などを確認しておきましょう。また、家族の連絡方法として、遠方の親戚などに連絡し情報を取り次いでもらう方法や、NTTの「災害伝言ダイヤル171」、携帯電話会社の「災害伝言板」を活用するなど家族で決めておきましょう。



災害用伝言ダイヤル171とは

災害伝言ダイヤルは、大地震や台風などによる大規模な風水害が発生し、電話がつながりにくくなった場合、伝言を残したり、聞いたりすることができるとシステムです。

災害用伝言ダイヤルは、公衆電話や携帯電話・PHSからも使用可能です。1伝言あたり30秒、1電話番号あたり1〜10件の伝言を残すことができます。録音保存期間は48時間です。災害時の安否確認に有効な手段の1つです。

あらかじめ避難場所の確認を

市では、宿泊が可能な二次避難場所を別表のとおり34カ所指定しております。お近くの二次避難場所を確認しておきましょう。

(別表)

我が家でできる簡単防災チェック

この機会にチェックしてみましょう。特に備蓄食料については、市では避難所生活が必要となる想定避難者分のみ備蓄を行っております。したがって、各家庭における備蓄が大切となります。

- 非常食（家族3日分）を備えてある※1
- 飲料水（1人1ℓ・家族3日分）を備えてある※1
- 懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池を用意してある
- 非常用持ち出し袋を用意してある
- 風呂に水をため置きしてある
- 救急医療品を用意してある
- 衣類、下着、毛布などを用意してある
- 冷蔵庫など大型家電や家具の転倒防止をしてある※2
- タンスや本棚の上に重い物を置いていない※2
- ブロック塀や石垣を補強してある
- ガスの元栓や電気のブレーカーの位置を確認してある
- 日頃から地域での活動や人付き合いを大切にしている
- 自宅の耐震性を確認している（昭和56年5月以前の木造住宅の場合は建築士に相談してみましょう。）※3

- ※1 市では、ローリングストック法による備蓄を推奨。はじめに、いつもの2倍の食品などを購入。半分の量を使ったら、同じ量を購入し補充する方法。
- ※2 過去の震災では、建物に特別な被害がなくとも、家具の転倒や散乱により逃げおくれたり室内でケガをされたりした方が多数発生しています。
- ※3 市建築課では、年5回耐震相談会を開催しています。また、昭和56年5月以前の木造住宅の耐震診断及び耐震改修の補助を行っています。

No.	二次避難場所	所在地
1	中央公民館	茂原 101
2	図書館	八千代 2-9
3	総合市民センター	町保 13-20
4	茂原小学校	茂原 614
5	西小学校	茂原 1229-1
6	萩原小学校	萩原町 1-17
7	東部小学校	東部台 1-9-1
8	茂原市市民体育館	高師 2165
9	茂原中学校	高師 427
10	長生高等学校	高師 286
11	茂原高等学校	高師 1300
12	茂原樟陽高等学校	上林 283
13	東郷小学校	谷本 142
14	東中学校	東郷 301
15	千葉県生涯大学校外学園	本小鬱 319-1
16	東郷福祉センター	谷本 1887-1
17	鶴枝小学校	上永吉 955
18	鶴枝公民館	上永吉 1012
19	中の島小学校	中の島町 451
20	中の島幼稚園	下永吉 1056-2
21	二宮小学校	国府関 1415-1
22	富士見中学校	押日 1468
23	緑ヶ丘小学校	緑ヶ丘 4-38
24	西陵中学校	緑ヶ丘 1-53
25	豊田小学校	長尾 156
26	豊田福祉センター	長尾 148
27	五郷小学校	綱島 1185
28	五郷福祉センター	綱島 656
29	早野中学校	早野 206-1
30	本納中学校	本納 1623
31	本納公民館	本納 1600
32	新治小学校	下太田 150
33	豊岡小学校	弓渡 255
34	豊岡福祉センター	粟生野 2675-4